

日本軽金属インターンシップ 2014のご案内

- 実習期間** 2014年8月11日(月)～9月12日(金)までの間で2週間程度
- 受入部門** 理系:研究・開発部門 (詳しくは「受入部門一覧」を参照ください)
- 勤務地** 日本軽金属(株) グループ技術センター(研究所)
〒421-3203 静岡県静岡市清水区蒲原 1-34-1
- 待遇** 無給
・遠方からの参加者は期間中、寮などの施設に宿泊していただきます。
・面接およびインターンシップ中の交通費、宿泊費、食費は自己負担です。
- 参加要件** 学士3年生・4年生、修士1年生、高専4年生
※受入対象学部については、「受入部門一覧」をご参照ください。
- 申込締切日** 2014年6月6日(金)
- 応募方法** 申込締切日必着で以下の書類をご郵送ください。(電子メールでの応募は不可)
1. 履歴書【市販のもので構いません】
・写真添付、e-mailアドレス、携帯番号、ゼミ、研究室名、研究テーマ、指導教官名を明記してください。
2. 自己PRシート(A4であれば書式・分量自由)
・以下の3点について記入してください。
①応募 No.(受入部門一覧参照)
②現在の研究テーマや勉強している内容
③興味のある仕事内容とインターンシップで学びたいこと
- 【宛先】 〒140-8628 東京都品川区東品川 2-2-20 天王洲郵船ビル
日本軽金属株式会社 人事部 インターンシップ係
- ・ 応募書類は返送いたしませんので、ご了承ください。
 - ・ 大学の単位認定に該当する方はその旨を明記してください。
 - ・ ご提供いただいた個人情報、インターンシップの運用目的以外には一切利用しません。
- 選考日程** 6/6(金) 募集締切(必着)
6月下旬～7月中旬 東京本社にて受入部門による面接・筆記試験
(書類選考に合格した方のみご案内いたします。筆記試験は、高卒程度の理系の基礎学力を問う問題です。)
7月下旬 受入学生決定(電話かメールにて面接可否連絡)
8/11(月)～9/12(金) インターンシップ期間
※ 受入部門によって期間は異なります

受入部門一覧 -1

実習期間は2週間程度の間で応募者と面談の上、決定します。

No.	職種	対象学部	対象学年	枠	受入部門	実習内容	受入時期	受入場所
1	研究開発	物質工学系 材料系 (金属材料他) 機械系 化学系 (有機、無機、 分析化学)	学士3年 学士4年 修士1年 高専4年	1名	技術・開発グループ グループ技術センター (研究所)	材料学、化学、電気化学等が融合した新しいアルミニウム基材料の創製 溶融塩電解等を利用した製錬、幅広い材料学に基づいた材料開発、構造設計・耐久設計と融合した自動車軽量化に寄与する部品開発	8月11日 (月) ～ 9月12日 (金)	〒421-3203 静岡県静岡市 清水区蒲原1-34-1
2	研究開発			1名	技術・開発グループ グループ技術センター (研究所)	圧延・押出などの加工プロセスを利用した材料開発ならびに当該開発業務に付随する試作・実験・評価の実習		
3	研究開発			1名	技術・開発グループ グループ技術センター (研究所)	異種材異種金属材料(樹脂も含む)とアルミとを接合できる工法を検討して、その接合継手を評価する		
4	研究開発			1名	技術・開発グループ グループ技術センター (研究所)	各種分析技術(SEM、EPMA、TEM、発光分析、マイクロ組織観察)を用いた、アルミニウムを中心とした材料、表面の解析技術の実習		
5	研究開発			1名	技術・開発グループ グループ技術センター (研究所)	アルミ材表面、表面異物の解析(SEM、EPMA、ミクロ観察) アルミ表面処理材の物性、耐食性評価		
6	研究開発			1名	技術・開発グループ グループ技術センター (研究所)	実大構造物の構造解析と構造試験、構造部品の応力変形解析と強度試験による最適構造設計 熱伝導・熱伝達・相変化を利用した集熱・排熱・熱交換・熱移動デバイスおよびシステムの数値解析と実験による熱設計および評価		

お問い合わせ

本件の内容に関するお問い合わせは下記までお願いします。

〒140-8628

東京都品川区東品川 2-2-20 天王洲郵船ビル

日本軽金属株式会社 人事部：インターンシップ担当

Tel: 03-5461-9245 Fax: 03-5461-9299

e-mail: nlmsaiyo-master@nikkeikin.co.jp

URL : <http://www.nikkeikin.co.jp>

以 上

BIG POWER, NIKKEIKIN!

アルミには未来を変える力があると思う。

大海原を悠々と泳ぐクジラのように。可能性という名の海で、
大いなるポテンシャルを秘めてアルミは進化し続けます。
多彩なニーズに応える、私たち日軽金の高度な技術と知見、
豊富なノウハウ。社会の発展を支える“ソリューション”を、
アルミ・テクノロジーを通じて提供していきます。
どうぞ、ご期待ください。

アルミは創造力資源へ。

 **NLM** 日本軽金属ケ“IL-7°